

平成 29 年度 今帰仁村職員研修

2017年 11月 9日(木) 10:00 ~ 15:30
11月 10日(金) 14:00 ~ 17:00
於：今帰仁村役場本庁舎2階 第1会議室

情報発信力を 鍛える

広報誌や SNS などの
情報発信手法を複合的に、
かつタイムリーに駆使し、
受け手に対して
わかりやすく伝えるために！

総合的に



グローバル教育支援機構 山田美都雄(講師)
RCC 事業本部 空閑睦子(講師)
松村葉子

開催 報告書

研修の概要

広報誌などを通して住民の方々に情報を発信する機会が多い職員の皆さんを対象に、「有効な情報発信」についてさまざまな角度からアプローチする研修を2日間にわたり行いました。事前に、「情報発信」についての悩みや課題をアンケートで把握し、それに基づいて研修内容を設定し、的確な問題解決を図る「オーダーメイド型研修／セミナー」です。

場所は、今帰仁村役場本庁舎2階の第1会議室。参加者は、同役場職員総計12名の方々でした。アンケートへのご回答を基に、①情報収集力を磨く、②情報発信の戦略を立てる、③思考力を鍛え「問題意識」を高める、④政策決定に役立つ社会調査の方法、⑤伝える力を磨くための文章力アップ術、という5つのテーマを設定。この5部構成により、情報発信に関して総合的に力を養うことを、今回の研修の目的としました。

第1部 情報収集力を磨く

第1部の学びの目的

インターネットの普及でさまざまな情報があふれる状況の中で、信頼性の高い情報を収集する基本的なノウハウを身に付ける。



自分たちが日頃からどのように情報収集をしているか、その方法をシェアしながら、情報収集力をアップしていきました。

第2部 情報発信の戦略を立てる

第2部の学びの目的

- ①自治体の情報発信に求められていることの再確認。
- ②情報量の増加に伴う人々の行動プロセスの変化に対する認識。
- ③ニーズやターゲットを探る方法と受け手の関心を高める方法の理解。



「自治体に求められる情報発信とは何か」というテーマでのワークを通して、ニーズを調べたりターゲットを絞る方法等を学びました。

第3部 思考力を鍛え「問題意識」を高める

第3部の学びの目的

2種類の「頭の体操」を実際に行うことで、日頃から「問題意識」を持つ力を高める。それを柔軟な情報発信に結びつける。



「当たり前のことに疑問を持つ」「自分の嗜好の理由を見つめ直す」という、思考力を鍛える2つのトレーニングをしました。

第4部 政策決定に役立つ社会調査の方法

第4部の学びの目的

自治体職員の基礎能力として欠かせない社会調査の具体的な手法と、その結果を政策形成や情報発信に活かす方法を学ぶ。



第4部では、有効なアンケートの作り方など、「社会調査の基礎」を山田美都雄講師から学びました。

第5部 伝える力を磨くための文章力アップ術

第5部の学びの目的

情報の整理・表現など情報発信における「伝える力」を磨くために、情報発信の基礎力となる「伝わる文章の書き方」の基本を身に付ける。



2人1組になり、お互いインタビューをした後、その内容を基に実際に文章を書いていただきました。

研修の最後は今後の目標設定

最後に、今日の研修を振り返りながら、「頭の体操」や「文章作成」を今後どのように自分で続けていくかについて目標設定をしてもらい、受講生全員に発表していただきました。



参加した受講生それぞれの目標が設定されました。

終了後は皆さんで記念撮影！お疲れ様でした！



参加者のご感想を一部で紹介します。

アンケートの書き方や日々考えることの大切さを学べて良かった。

みんなが発言しやすい雰囲気だった点が良かった。最後の方しか参加できなかったが、最初から参加したかった。

グループワークが多くあって良かった。人脈が広がった。

講義だけでなく、ワークで一緒に考えるのが良かった。

一番は職場の人と意見交換ができたこと。

あらためて読み手の立場になることの大事さがわかった。